

全学集会を終えて

これまでのいきさつ

全明治大学有志連合会は6月17日の臨時学生大会でスト権が確立した直後、この大会が、本来学生の総意を反映する機関であるべきはずの中央執行委員会が学生の意見を十分に聞くことなく、一方的にスト権を確立したことに對して、学生一人一人が話し合いのルールを確立の中で自由な討論のできる場が設定されなければならないことを痛感し、そのような場を確保することを中央執行委員会に對して要求するために、当時の政経3〜4年有志連合が母体となり、臨時学生大会開催要求及び、話し合いを申し入れたが、応答が全然無かった。

大会要求は続ける 「大学改革参加」にも強い自信

全明有志連合会 佐々木裕



ただで、何の努力も払わなかった教職員、無能・無責任さを追及するために強効集会を開き、多くの学生の意見を聞くことも、パリの臨時学生大会でスト権が確立した直後、この大会が、本来学生の総意を反映する機関であるべきはずの中央執行委員会が学生の意見を十分に聞くことなく、一方的にスト権を確立したことに對して、学生一人一人が話し合いのルールを確立の中で自由な討論のできる場が設定されなければならないことを痛感し、そのような場を確保することを中央執行委員会に對して要求するために、当時の政経3〜4年有志連合が母体となり、臨時学生大会開催要求及び、話し合いを申し入れたが、応答が全然無かった。

余然無かった。

これ等多数の学生の意思を代表して、西川中央執行委員会委員長に、臨時学生大会開催要求及び、話し合いを申し入れたが、応答が全然無かった。

夏休み明けの10月4日に大学当局主催の全学生集会が、八幡山グラウンドで行われたが、全学関係の学生(他大学の学生を含む)の出席及び、その状態を傍観する

われわれは、大学当局の一方的

な、ロッカウト体制下の授業再開、及び、集中講義は、集会の実施の禁止であり、今までの紛争問題、中庭にて、全明有志連合(連)

過去四年間行われていないこと、千名位であった。集会は、12時から予定通り開かれたが、11時30分頃から全学関係の学生40〜50名位がわれわれの全学生集会粉砕を叫んで、集会を閉じていた。そして、集会執行部の態度にわたる集会への参加の呼びかけにもかかわらず、議事進行を妨害した為、集会規約にのっと

新たに署名活動も

われわれは、この集会を振り返って、議事進行の面で多少の混乱はあったが、いわゆる一般学生の手で、この様な大規模な集会を開催することが出来たことにより、われわれでも大学改革に何等かの形で参加出来るのだという強い自信を持った。今後、われわれは、全学学生集会の四項目、すなわち、一、スト権解除、二、中執リコール、三、大学立法異質化阻止の決議をもとに署名活動を行ない、多くの学生の意思を結集し、再度中央執行委員会並び、学生自治会に對して、臨時学生大会開催を要求し、全学的な討論の出来る場を、設けていくように要求する考えである。

中間報告は欺瞞的

最後に一私見を述べてみたい。

先に、大学改革準備委員会によって作成された「中間報告」は、明治大学を改革する真の案とは、ほど遠いとの感を手紙がわれない。つまり、文章的に抽象化された部分が多すぎる事、改革案の列挙がなされてはいるものの、それ等の事を、如何にして具体化するかが、どうも

題を、うちむちにする大学当局の策動であって、われわれは、これらの問題を再認識し、しかも大学改革は、学生・教職員が一体となって、考えなければならぬ問題であることを再認識し、そして大学改革問題を考えて、早急に全学的な学生集会を開催をしなければならぬ。

多数の意見を聴取

われわれは、この集会に

- (1) 昨年より、又、一部では、それ以前より新しい正統の手續をした代議員が選出されている。
- (2) 会計監査及び、会計報告がこの集会に集まった学生は、約三

その為、大学当局に對して、

その為、大学当局に對して、

その為、大学当局に對して、

その為、大学当局に對して、

その為、大学当局に對して、

(法律部三年)